

インフレには勝てない

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸正人

当社の弁当部門、ウミネコ食堂も開業から6年目を迎えました。以前はイタリアンレストランを2軒経営していた人が多忙過ぎて体を壊し、廃業。何の縁か当社で働くこととなりました。周囲に食事所がないため、社長も社員も毎日コンビニ弁当。その調理師の社員だけが自作の手弁当を食べ、ついでにと他の社員の分も作ってくれるようになりました。

もともとレストラン経営者として食材にはトコトンこだわり、その美味しさはコンビニ弁当の比ではなく、しかも栄養バランスにも配慮。こんな弁当を自社だけで食べるのはもったいない。売ろうとの社長の一言で弁当屋の開店となりました。鶏肉は鳥取県産の有名な大山(「おおやま」ではなく「だいせん」です)の地鳥、豚肉は多摩の農林水産大臣賞を受賞した味の良さが評判のものしか使いません。弁当屋が使う食材ではありませんね。

問題はアルバイトが来てくれるかでした。江東区の隅っこの新木場……当社までの交通の便も悪い。これはバイト代で集めるしかない、時給1400円という破格の募集。さすがに応募者が殺到しました。しかし一番の魅力は時給ではなく、朝は10時頃に来てくれればよく、帰りも後片付けが終われば3時半には帰れる。これなら朝、子供を保育園に送ってからで間に合いますし、帰りのお迎え前に買い物もできます。1400円は出し過ぎでした。

昨年からはキッチンカーも本格稼働させ、そちらにもアルバイトさんが2人。バイト代を払うために営業しているようなもので、利益は殆どありません。そこへきての昨今の食材の値上がり。さらに光熱費まで上がって、800円の売値では週に2日は赤字……ついに3月から900円に値上げとなりました。

値上げしたらお客さんが減るだろうと心配したのですが全く減らず、今までが安過ぎたんだよと言ってくれる人までいて、感激しました。でも1000円となるとハードルが高くなります。なんとかインフレもこの辺で止まってくれると良いのですが、こればかりは神に祈るしかありません。

今は値下がりしている原油や天然ガスも、また値上がりに転じそう……卵の値上がりはヒナが育ってくれば来年には収まるでしょうが、エサの飼料は下がりそうもありません。インフレとの戦いは当分続きそうです。と言っても戦って勝ち目のある相手ではないので、なるようにしかなりませんが。

